

# LPM2011-The 12th International Symposium on Laser Precision Microfabrication

## 第 12 回レーザ精密微細加工国際シンポジウム

大阪大学 接合科学研究所  
教授 片山聖二  
(平成 22 年度国際会議等開催準備助成 AF-2010034)

キーワード：レーザ，マイクロ加工，ナノ加工

### 1. 開催日時

平成 23 年 6 月 7 日(火)～平成 23 年 6 月 10 日(金)

### 2. 開催場所

かがわ国際会議場およびサンポートホール高松  
〒760-0019 高松市サンポート 2-1

### 3. 国際会議報告<sup>1)</sup>

レーザ精密微細加工国際シンポジウム (LPM)はレーザ加工学会 (JLPS), 理化学研究所 (RIKEN), 産業技術総合研究所(AIST) 主催の会議であり, 過去に大宮, 奈良などでも開催された。今回は第 12 回目として 2011 年 6 月 7 日から 6 月 10 日にかけて, 高松市のかがわ国際会議場およびサンポートホール高松にて開催した。会議はプレナリーセッション, スペシャルセッション, 招待講演, 一般講演 (口頭およびポスター) から構成されている。会議初日のプレナリーセッションの講演 3 件と最終日の産業応用セッション 2 件を除き, 3 パラレルセッションで開催されるとともに, 中 2 日の昼食時には, ポスターセッションも行った。135 件の口頭発表 (招待講演 21 件, 一般講演 114 件), 64 件のポスター発表の合計 199 件の研究発表から構成されるプログラムを構成できた。

講演発表の件数内訳はプレナリーセッション 3 件, スペシャルセッション 1 「液体と光の相互作用:光学的流体素子およびバイオ応用」9 (招待講演 2 件を含む), スペシャルセッション 2 「レーザ誘起膜堆積」7 (招待講演 2 件を含む), スペシャルセッション 3 「ナノ材料・ナノ構造」12 (招待講演 2 件を含む), 一般セッション 114 件 (招待講演 18 件を含む), ポスターセッション 64 件であり, 合計 199 件中, 84 件が日本からの発表, 残りの 115 件が海外 23 カ国からの参加者による発表である。講演件数の国別内訳 (登壇者の所属) を表 1 に示す。海外からの講演は台湾, ドイツ, 韓国, フランスおよびアメリカがそれぞれ 17, 16, 14, 12, 10 件と多く, 続いてカナダ, リトアニアの 6 件, オーストラリア, 中国の 5 件, オランダ, アルゼンチンの 4 件と続く。またヨーロッパ諸国からの講演も継続的に行われている。台湾や韓国, 中国, シンガポールなどのアジア諸国からの講演も多く, レー

ザ加工技術が確実に我が国の近隣にも普及している。

表 1 国別発表件数

国名	件数	国名	件数
日本	84	アイルランド	2
台湾	17	シンガポール	2
ドイツ	16	ロシア	2
韓国	14	スペイン	2
フランス	12	イスラエル	1
アメリカ	10	ポーランド	1
カナダ	6	イタリア	1
リトアニア	6	ブラジル	1
オーストラリア	5	スロベニア	1
中国	5	フィンランド	1
オランダ	4	スイス	1
アルゼンチン	4	オーストリア	1
		合計	199

会議参加者は 24 カ国から 250 名であり, うち海外からの参加者は 81 名であった。日本におけるレーザ加工の国際会議としては最大級のものであると評価される。

本会議は, レーザ加工分野において基礎研究者, エンドユーザー, レーザマニュファクチャラーが一堂に会し, レーザ材料相互作用の基礎科学からレーザ加工技術の現状, 次世代のレーザ加工のトピックスまで幅広く議論できる数少ない国際会議であり, 非常に有意義なものであった。今回の会議を通して, レーザ加工を支える科学基盤を確立することはもとより, レーザ加工技術の実用化を制限する要因, それを克服するために必要な将来技術, 将来市場の予測などが明確になり, 社会的にも有益な成果を挙げることができたものと確信している。

### 謝辞

本会議を開催するにあたって, 財団法人天田金属加工機械技術振興財団より国際会議等開催準備助成を賜りました。ここに篤く御礼申し上げます。

### 参考文献

1) Program and Technical Digest of LPM2011, (2011) in Takamatsu.